※令和４年度以降入学生用

学校番号	402

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学ＩA演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	短期攻略　大学入学共通テスト数学Ｉ・A　基礎編（駿台文庫）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学を学習することにおいて留意することは、単に公式や定理を暗記して問題を解くだけでなく、数学の用語・記号、公式、定理などを体系的に理解して身につけ活用することです。また数学を学習していく過程で、帰納的な考え方、演繹的な考え方など、数学特有の見方や考え方を学ぶことになります。このような見方や考え方のよさを理解し、何が本質であるかを見抜くことが大切であり、この本質をつかむと、未知のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学を通して、見通しをもち筋道を立てて考え、判断できる力を身につけるとともに、日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

2　学習の到達目標

数学Ｉ・Aの内容についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につける。

与えられた事象から条件を読み取り、数や式、図を多面的にみたり目的に応じて変形したりすることで、事象を既知事項へ帰着させ、適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力をつける。

数学のよさを認識し数学を活用する態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学Ｉ・Aの基本的な概念や原理・法則を理解し，事象を数学的に解釈し，適切に処理することができる。	様々な事象についてその本質や他の事象との関連を認識し，既知事項に帰着させて考察・処理することができる。	数学の有用性を理解し，積極的に数学を活用しようとする。また，自身の数学的活動を振り返り，課題を見つけてその解決に向けた取り組みを計画・実行することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	数学Ⅰ	数と式 集合と命題 2次関数 図形と計量 データの分析	a：数学Ⅰの基本的な概念や原理・法則を理解し，事象を数学的に解釈し，適切に処理することができる。 b：様々な事象についてその本質や他の事象との関連を認識し，既知事項に帰着させて考察・処理することができる。 c：数学の有用性を理解し，積極的に数学を活用しようとする。また，自身の数学的活動を振り返り，課題を見つけてその解決に向けた取り組みを計画・実行することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート 自主設定課題 振り返りシート
	数学A	場合の数 確率 図形の性質 数学と人間の活動	a：数学Aの基本的な概念や原理・法則を理解し，事象を数学的に解釈し，適切に処理することができる。 b：様々な事象についてその本質や他の事象との関連を認識し，既知事項に帰着させて考察・処理することができる。 c：数学の有用性を理解し，積極的に数学を活用しようとする。また，自身の数学的活動を振り返り，課題を見つけてその解決に向けた取り組みを計画・実行することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート 自主設定課題 振り返りシート
後期	総合演習	大学入試センター試験や大学入学共通テストの過去問演習を通して数学Ⅰ・Aの知識を総合的に活用し、問題を解決する力を身につける。	a：数学Ⅰ・Aの基本的な概念や原理・法則を理解し，事象を数学的に解釈し，適切に処理することができる。 b：様々な事象についてその本質や他の事象との関連を認識し，数学Ⅰ・Aの知識を総合的に活用し、既知事項に帰着させて考察・処理することができる。 c：数学の有用性を理解し，積極的に数学を活用しようとする。また，自身の数学的活動を振り返り，課題を見つけてその解決に向けた取り組みを計画・実行することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出ノート 自主設定課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度